



今節(8/9~14)の 尼崎番記者おすすめモーター



8/8 前検日

最新情報をお届け!

04
号機
評価 SS

行き足~伸びが猛烈なWエースの一つ

23号機と共に“Wエース”と呼ばれた好素性エンジンである。初下ろしから出足も伸びも良く、小原聡将が優出4着。GⅠ周年記念では山田康二が抜けた直線気配で、ターン回りも良好だった。7月ピンクルカップで中谷朋子が行き足から伸びが良く王道を進んで、8年ぶりの地元優勝。前節の安河内健も行き足→伸び◎だった。

2連対率
51.9%
4優出 1V



5126 山下大輝

56
号機
評価 SS

6月から7月にかけて4連続で優出

馬場剛(優勝)→森智也(優出3着)→海野康志郎(優勝)→三嶋さらら(優出5着)と怒濤の優出ラッシュ。海野がSGダービーを見据えてペラの冒険をした後も抜群気配が続く。前節の石塚裕介は予選で減点があり賞典レースを逃したが節間3勝をマーク。特に伸びが◎で、ダッシュ乗りが良くパンチのある舟足だった。

2連対率
48.1%
5優出 2V



4133 高橋正男

39
号機
評価 SS

周年優勝機はその後も快調そのもの

6月尼崎センブルカップで、加藤翔馬をGⅠ初優出→初優勝へ導いた優良エンジンである。その後はボートとの兼ね合いで中堅いっぱいのもあったが、ほとんどが二重丸評価で、前節は尼崎SGV歴のある中島孝平が体感に違和感を残しながらも「エンジンの裏付けがあったから」と王道を進んで尼崎8Vをマークした。

2連対率
47.6%
3優出 2V



5161 登玉隼百

オール兵庫王座決定戦 注目選手



3854 吉川元浩

07
号機
評価 A

上位のパワーに仕上がる下地は十分

2連対率は地味であるが、ところどころで好気配を見せており、引き手の調整能力によって潜在能力を引き出せる。GⅠセンブルカップでは新開航が大崩れなく運んで選抜1着。7月スポニチ杯では白水勝也が前検から伸びが良く優出3着だった。前節の山一鉄也はペラを叩いて行き足から急上昇し調整に正解を出した。

2連対率
30.8%
1優出 0V



4857 加藤翔馬

11
号機
評価 A

近況やや下火も周年優出実績は注目

西岡顕心がGⅠ周年記念で優出6着。行き足が良く、軽快なトルク感を得ていた。その後は「GⅠの優勝戦に乗ったエンジンの感じはない」のコメントもあり微妙な航跡。前節の重木輝彦は足的にはマズマズだったが、乗り心地がイマイチ。F休み明け2節目でレース勘もひと息だった。センブルカップ覇者の手腕で再覚醒へ。

2連対率
33.7%
1優出 0V



4446 和田兼輔

05
号機
評価 B

近況はパツとせず最後は調整力頼み

機歴を丹念に振り返ると二重丸評価がないわけではないが、近況はさほど目立たない。GⅠの上條暢嵩は大敗が目立って予選落ち。7月の本社杯では向所浩二が全然伸びず。続く安田政彦は、それなりには動いていた感じだった。前節の西野翔太は巧腕を尽くして優出したが、エンジン評価は普通。支部長の手腕に期待しよう。

2連対率
34.5%
1優出 0V